

## 寄贈図書リスト

ビジュアル ハッブル望遠鏡が見た宇宙, デビッド・デボーキン, ロバート・W・スミス著, 金子周介訳, 224 頁, 308×281 mm 仕様, オールカラー, 9,333 円+税, 日経 BP 出版センター

宇宙素粒子物理学, C・グルーベン著, 小早川恵三訳, 468 頁, 234×154 仕様, 8,500 円+税, シュプリンガー・ジャパン株式会社

皆既日食, 武部俊一, 178 頁, 1,000+税, 四六判, 朝日新聞出版

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で [jimu@geppou.asj.or.jp](mailto:jimu@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお, 原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

## 人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

## 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

1. 教授 1 名
2. (1) 大学院理学系研究科天文学専攻 (天文学宇宙物理学講座)  
(2) 東京都文京区本郷 7-3-1
3. 天文学
4. 天文学専攻には現在, 銀河天文・観測的宇宙論, 超新星爆発・宇宙化学進化論, 太陽恒星物理・地震学, 赤外線天文学・星間物理学の研究グループ (理論および観測) があります (詳しくは, <http://www.astron.s.u-tokyo.ac.jp> をご覧下さい)。大学院および学部教育に熱意をもって取り組み, これらのグループと連携し, 観測を視野に入れて研究を進める方を求めます。
5. 採用決定後なるべく早い時期
6. 大学院博士課程修了, またはそれと同等以上の方
7. 提出書類  
(1) 略歴書 (写真貼付), (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要), (3) 研究論文リスト, (4) 主要論文別刷 (3 編以内), (5) 着任後の研究計画と抱

負, (6) 本人について意見を述べられる方 2 名 (国内外を問わない) の氏名と連絡先 (e-mail アドレス)

8. 2009 年 8 月 31 日 (月) 必着  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1  
東京大学大学院理学系研究科天文学専攻  
専攻長 尾中 敬  
Tel: 03-5841-4261 Fax: 03-5841-7644  
e-mail: [onaka@astron.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:onaka@astron.s.u-tokyo.ac.jp)
9. 封筒の表に「人事応募書類」と朱書き, 直接持参するか, 簡易書留で郵送して下さい。

本研究科では, 男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは下記 URL の理学系研究科男女共同参画基本計画をご覧ください。

<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html>

## 宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部

1. 准教授 (教育職) 1 名
2. (1) 宇宙科学研究本部 赤外・サブミリ波天文学研究系  
(2) JAXA 相模原キャンパス
3. 赤外線天体物理学
4. 赤外・サブミリ波天文学研究系では, 主に飛翔体を用いた赤外線・サブミリ波天文学の観測的研究を行っています。現在は, 平成 18 年 2 月に打ち上げられた赤外線天文衛星「あかり」の運用, およびその観測データを用いた天文学研究を中心に, 大気球, 観測ロケットを用いた観測的研究も行っています。さらに, 次期赤外線天文ミッション SPICA 計画の概念設計が国際協力の下で進めら

れており、このミッション実現に向けた観測技術の開発も進行中です。今回の准教授公募では、上記の研究系の活動に沿った研究計画を持つ方で、特に SPICA 計画の中核を担い、国際協力を含む観測装置開発のとりまとめをしていただける方を求めます。また同時に、「あかり」の運用とデータ解析にも積極的に参加し、そのデータを用いた天文学研究に取り組める方を希望します。JAXA が持つ大学共同利用の役割を理解し、大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに、大学院学生の教育・指導にも十分な能力のある方を求めます。また、JAXA 内各種活動に積極的に参加し、専門研究能力を生かして研究開発やプロジェクトに貢献できる意欲あふれる人材を希望します。

5. (1) 決定後できるだけ早い時期  
(2) 任期規定なし。63 歳定年制。
6. 博士の学位を有する方
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 論文リストと主要論文の別刷、(4) これまでの研究概要と今後の研究計画、(5) 他薦の場合は推薦書 2 通、自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方 2 名の氏名と連絡先（住所、電話番号、電子メールアドレス）。
8. 平成 21 年 7 月 31 日（金）必着
9. (1) 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1  
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部  
研究推進室  
Tel: 042-759-8010  
封筒の表に「赤外・サブミリ波天文学研究系  
准教授応募書類在中」と朱書して、書留郵便  
にて郵送して下さい。応募書類は返却致し  
ませんので、あらかじめご了承ください。また、  
選考に伴い発生する交通費・宿泊費について  
は自己負担となります。
- (2) 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部  
赤外・サブミリ波天文学研究系 研究主幹  
村上 浩  
Tel: 042-759-8159  
e-mail: hmurakam@ir.isas.jaxa.jp
10. 選考は宇宙科学研究本部宇宙科学運営協議会にて  
行います。
11. (1) 待遇
  - ・給与：能力・経験を考慮の上、機構の規定  
により決定。
  - ・休日休暇：機構の規定による（教育職特別  
あり）。
  - ・宿舍：独身用・世帯用が用意されています

が、空室状況等により、入居のご希望に沿えない場合には、機構の規定により住宅手当が支給されます。

- ・社会保険：各種社会保険完備（健康保険、厚生年金保険）。

- (2) 個人情報の利用目的について  
宇宙航空研究開発機構の教育職公募に関連して提供された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、すべての個人情報を責任を持って破棄いたします。

## 広島大学宇宙科学センター教員

1. 教授 1 名
2. (1) 宇宙科学センター  
(2) 広島県東広島市
3. 可視光・赤外線天文学
4. 広島大学宇宙科学センター附属東広島天文台において、1.5 m 光学望遠鏡とその観測装置の特徴を活かす研究を主導でき、かつ、広島大学における宇宙科学の将来展望を大きく描ける方。望遠鏡及び、特徴ある観測機器群（偏光撮像装置、可視・近赤外線同時撮像・分光装置）を完成させ、突発・激変天体観測研究、惑星探査など特色ある研究の推進を期待します。なお、理学研究科の X 線・ガンマ線観測研究グループと連携し、多波長観測でも第一線の研究を主導できる方が望ましい。また、教育にも情熱を持ち、可視光・赤外線天文学（大学院理学研究科兼任授業）、可視光・赤外線天文学入門（理学部兼任授業）を担当して下さいの方。
5. (1) 決定後、できるだけ早い時期  
(2) なし
6. 博士の学位もしくは博士相当の学位を有すること
7. (1) 履歴書（学歴、職歴）、(2) 研究業績（発表論文一覧と主要論文 3 編のコピー）、(3) 東広島天文台の中・長期計画及び将来の展望（3000 字程度）、(4) 教育実績と教育に対する抱負（1000 字程度）
8. 2009 年 7 月 31 日（金）
9. (1) 〒739-8526 東広島市鏡山 1-3-1  
広島大学宇宙科学センター長 大杉節  
※封筒の表に「宇宙科学センター教授応募書  
類在中」と朱書し、簡易書留もしくは配達  
記録で送付してください。
- (2) 広島大学宇宙科学センター長 大杉節  
Tel: 082-424-7378, Fax: 082-420-0277

e-mail: ohsugi@hirax7.hepl.hiroshima-u.ac.jp

10. 選考方法: (1) 書類審査, (2) 必要に応じて面接を行うことがあります。ただし、交通費等は支給できませんので予めご了承ください。(3) 広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績(研究業績, 教育業績, 社会貢献等)及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。
11. (1) 定年: 満 63 歳(広島大学規則により定年に達した日以後における最初の 3 月 31 日に退職)  
 (2) 退職手当: 国, 特定独立行政法人, 地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますので、ご注意ください。なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り、従来どおり通算されます。  
 (3) その他: 応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続きに利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。

### 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

### 弘前大学大学院理工学研究科助教

1. 2008 年 11 月(第 101 卷 11 号)
2. 高橋龍一(名古屋大学大学院理学研究科 特任助教)
3. 2009 年 7 月 1 日

### 北海道大学大学院工学研究科助教

1. 2009 年 1 月(第 102 卷 1 号)
2. 村上尚史(国立天文台日本学術振興会特別研究員)
3. 2009 年 5 月 1 日

### 鹿児島大学理学部物理科学科教授

1. 2009 年 2 月(第 102 卷 2 号)
2. 和田桂一(国立天文台理論研究部)
3. 2009 年 8 月 1 日

### 研究助成

#### 住友財団 2009 年度基礎科学研究助成

1. 対象: 理学(数学, 物理学, 化学, 生物学)の各分野およびこれらの複数にまたがる分野の基礎研究で萌芽的なもの(それぞれの分野における工学の基礎となるものを含む)
2. 応募資格: 若手研究者(個人またはグループ)
3. 助成金額:
 

(1) 助成金の総額	1 億 4,000 万円
(2) 1 件当たりの助成額	最大 500 万円
(3) 助成件数の日処	100 件程度
(4) 助成期間 1 年間	ただし希望される場合はさらに 6 カ月間を限度として延長可。
4. 応募方法:
 

住友財団のホームページ(<http://www.sumitomo.or.jp/>)基礎科学研究助成から、募集要項・申請書記入要領・申請書フォーム(PDF WORD)をダウンロードして申請書ファイルを作成していただきます。その後、ファイルから申請書を印刷して財団まで郵送していただきます。

他に(公財)2009 年度 環境研究助成もあります。(担当 佐藤)

応募締切日: 2009 年 6 月 30 日(火)必着
5. 連絡先:

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-12-16 住友芝大門ビル 2 号館  
 公益財団法人住友財団(担当 中山)  
 Tel: 03-5473-0161 Fax: 03-5473-8471  
 e-mail: sumitomo-found@msj.biglobe.ne.jp  
 URL: <http://www.sumitomo.or.jp/>

### 研究会・集案案内

#### 「世界天文年全国同時七夕講演会」へのお誘い

ご存じのように今年にはガリレオガリレイが望遠鏡を

宇宙に向けてからちょうど 400 年の年に当たり、「世界天文年」として世界中で記念のイベントが企画されています。日本でも世界天文年日本委員会（海部委員長）が中心となってさまざまな企画がすでに実施され、これからも予定されています。私ども、日本天文学会も、世界天文年を記念して、「世界天文年全国同時七夕講演会」というイベントを企画することになりました。7月7日の七夕の日の夕方をはじめとして、その前後の週末などに、全国各地で同時に講演会を実施し、世界天文年を盛り上げようというものです。

講演内容は世界天文年に関する紹介や、各地の講演者の方々の得意な話題を講演していただく予定です。また、可能なところでは、講演のインターネット中継も予定しています。どこでどのような講演がなされるかは、以下の URL をご覧ください。

<http://www.kwasan.kyoto-u.ac.jp/tanabata/>

皆さんも最寄りの講演会場に足を運び、一緒に七夕講演会を楽しんでみませんか。

主催：日本天文学会

共催：天文教育普及研究会

実行委員会：柴田一成（委員長）（京都大学，天文学会副理事長）土佐 誠（仙台市天文台，前天文学会理事長）須藤 靖（東京大学，天文学会評議員）沢 武文（愛知教育大学，元天文学会教育理事）作花一志（京都情報大学院大学，天文教育普及研究会会誌編集長）黒田武彦（西はりま天文台公園，兵庫県立大，前天文学会副理事長）松村雅文（香川大学，天文教育普及研究会会長）縣 秀彦（国立天文台天文情報センター普及室長）

## 野辺山で部分日食を見よう！

### —太陽講演会と日食観測会—

自然科学研究機構 国立天文台・野辺山

Tel: 0267-98-4300 Fax: 0267-98-2506

このたび、下記のとおり 7月22日に日本各地で見ることができる部分日食に合わせて天文イベントを野辺山で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

#### 記

- 主催：国立天文台・野辺山
- 協賛：株式会社ビクセン
- 日時：2009年7月22日9:30~12:00（受付開始は9:00）
- 会場：国立天文台・野辺山キャンパス（長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2）  
※交通のご案内につきましては、以下の

Web ページをご覧ください。

<http://www.nro.nao.ac.jp/Info/gettoNRO.html>

- 定員：100名様（事前のお申込みが必要です。）
- 参加費：無料
- 対象：小学生以上
- 概要：今年7月22日には、日本のごく一部では皆既日食を、また日本のほとんどの地域で部分日食を見ることができます。それに伴い国立天文台・野辺山では、日食という天文ショーを体感していただくとともに、太陽の面白さをお伝えするために、研究者による日食の解説と最新の研究結果を含んだ太陽講演会と、日食観測会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

○プログラム：9時：受付開始

9時半~10時：太陽講演会

10時~12時：日食観望会

参加者には日食観測用の日食グラスを配布する予定です。

野辺山電波観測所ならではの電波でみる日食や太陽電波観測施設の紹介、硫黄島からの皆既日食インターネット中継なども楽しんでいただく予定です。

12時：自由解散

○参加申込方法（事前のお申込みが必要となります。）

申込受付締切：2009年6月30日（6月30日の消印有効）

申込方法：往復はがきの往信の文面に(1)氏名，(2)参加人数，(3)住所，(4)電話番号を明記し，返信の宛名には，申込者本人の氏名，郵便番号，住所を記入され，下記申込先へお送り下さい。

参加人数は，往復はがき1枚につき6名までとさせていただきます。

往復はがき以外のお申込み（電子メール・FAX等での申込み）は，できません。

お申し込み先：〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2

国立天文台・野辺山太陽電波観測所日食イベント係

参加方法：皆様からの往復はがきによるお申込みから抽選を行います。当選グループには，往復はがきの返信部を利用して参加証を発送します。当日はこの参加証をお持ちになって会場までお越し下さい。なお，当選グループの発表は，参加証の発送を

もって代えさせていただきます。

#### ○注意事項

新型インフルエンザ対策のため急遽中止する可能性があります。開催情報を事前にホームページや問い合わせ先にてご確認下さるようお願いいたします。安全な太陽観測を行うため、持ち込み機材による日食観測はご遠慮下さい。

#### ○お問合せ先

国立天文台・野辺山  
Tel: 0267-98-4300 (平日 9 時より 17 時まで)

#### ○イベントホームページ

上記の情報およびイベントの詳細は、以下の Web ページをご覧ください。  
[http://solar.nro.nao.ac.jp/090722Eclipse\\_event/](http://solar.nro.nao.ac.jp/090722Eclipse_event/)

### 東京大学天文学教育研究センター木曾観測所 および名古屋大学太陽風観測所の特別公開 のお知らせ

東京大学木曾観測所および名古屋大学太陽風観測所を一般の皆様へ公開いたします。

当日は、普段近くで見ることができない望遠鏡や観測装置を間近に見ることができ、天文講演、研究紹介なども行われます。

1. 日 時: 2009 年 8 月 1 日 (土) 13 時~21 時 30 分
2. 開催場所: 東京大学木曾観測所および名古屋大学太陽風観測所  
〒397-0101 長野県木曾郡木曾町三岳 10762-30
3. 見学・展示・講演会 13 時~19 時
  - ・木曾観測所ドームおよび望遠鏡の見学と説明
  - ・太陽風観測所アンテナの見学と説明
  - ・教育・研究活動の紹介、天体写真の展示
  - ・講演会
4. 天体観望会 (雨天中止) 19 時 30 分~21 時 30 分
5. 交通: JR 中央西線木曾福島駅または上松駅から車で約 30 分
6. 問合せ先: 東京大学木曾観測所  
Tel: 0264-52-3360 Fax: 0264-52-3361  
ホームページ: <http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>  
<http://www.stelab.nagoya-u.ac.jp/>  
※なお、申込みは不要、入場無料です。ただし売店、食堂はありません。

### 第 5 回天文学の普及をめざすワークショップ

国立天文台では、プラネタリウムや公開天文台な

ど、天文教育担当者を対象に第 5 回最新の天文学の普及をめざすワークショップ: 銀河編~すばる望遠鏡が俯瞰する銀河の形成と進化~と題するワークショップを下記の要領により開催いたします。

#### 記

日 程: 2009 年 10 月 11 日 (日)~13 日 (火)

場 所: 国立天文台岡山天体物理観測所および遙照山ホテル

岡山天体物理観測所: 岡山県浅口市鴨方町木庄 3037-5 Tel: 0865-44-2155

遙照山ホテル: 〒719-0234 岡山県浅口市鴨方町益坂 1866-4 Tel: 0865-44-1035

対 象: プラネタリウム・公開天文台・科学館職員・学校等の職員で天文学の普及に関わっている方  
募集予定定員: 30 名

参加費: およそ 1 万 7,000 円 (主に会期中の宿泊費、食事及び懇親会費) 応募方法: 希望者は氏名、連絡先、e-mail アドレス、所属を明記して、レポート「すばる望遠鏡が探る銀河研究への興味」(A4, 1 ページ程度)を添付して 7 月 15 日までに下記宛先へお送り下さい参加者選考結果は 8 月 5 日に本人あて通知します。

応募締切: 2009 年 7 月 15 日 (水)

応募先: 郵送またはメール

〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台天文情報センター 「最新の天文学の普及をめざすワークショップ」係  
e-mail: [shoichi.itoh@nao.ac.jp](mailto:shoichi.itoh@nao.ac.jp)

主 催: 国立天文台

共 催: 日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、天文教育普及研究会

後 援: 日本天文学会

ワークショップの目標

- (1) すばる望遠鏡による最近の銀河研究の成果をプラネタリウム、公開天文台、科学館あるいは学校などの教育で活用してもらうため
- (2) 銀河や宇宙の進化・構造を理解するためのフレームワーク作りのため
- (3) 研究者ならびに関係者とのコラボレーションのため

主な内容 (予定): 第一世代銀河の探査、銀河形成の理論、遠方銀河の分布と星種族、遠方銀河の内部構造、銀河進化の理論、銀河団と銀河進、近傍銀河と活動銀河核、銀河系の化学力学構造、銀河の力学進化モデル、局所銀河群銀河の星種族、ガリレオ先生養成講座、4D2U 実習参加者からの実践報告

問合せ先: 〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1

自然科学研究機構国立天文台  
天文情報センター科学文化形成ユニット  
伊東昌市  
Tel: 042-34-3802 Fax: 042-34-3812  
e-mail: Shoichi.itoh@nao.ac.jp

## 会務案内

### 内地留学奨学金応募者の募集について

この奨学金は主として学校の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台などの社会教育施設の職員などやアマチュア天文研究者の方々の研究活動・調査活動を支援する制度です。学生の応募も可能です。

この奨学金を受給された場合、日本国内の大学や天文台などの研究機関を利用し、そこの研究者の指導を受けて研究活動を行うこととなります。いままで、多くの方がこの制度を利用して、それぞれ関心をお持ちのテーマで研究をされてきました。奮って、ご応募下さい。

研究をしてみたいがその内容にふさわしい機関や指導者が分からないという場合は、内地留学奨学金選考委員長に相談して下さい。

過去の奨学金の対象となった研究テーマは本会の会員名簿の巻末、および学会ホームページに掲載されています。

### 募集要項

応募資格：日本天文学会員

採択数：若干名

留学期間：2010年1月から1年間の中から、希望する期間。

希望者と受入研究機関、指導教員（受入研究者）とが相談の上、夏休みなどの長期休業時に集中させたり、週に1回程度の研究日を設定するなどの方法が考えられます。なお研究終了後研究報告書の提出をお願いいたします。

支給額：25万円以下で、支給は2010年1月を予定しています。

申込み：応募申請書に必要事項を記入し、指導教員の捺印とコメントを得た上、

〒181-8588 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会理事長 宛」に郵送して下さい。

応募締切：《2009年8月28日（金）必着》

審査：内地留学奨学金選考委員会（内規第5条）で審査の上、決定し、10月下旬に通知します。

応募用紙：日本天文学会事務室にあります。（学会事務室に電話を下されば郵送します。）

申請書の書き方の例もありますからご請求下さい。なお、天文学会の会員名簿の巻末に内地留学奨学金に関する内規があります。

ご相談・問合せ先：群馬大学教育学部理科教育講座

〒371-8510 前橋市荒牧町4-2 内地留学奨学金選考委員長 岡崎 彰

Tel: 027-220-7292 Fax: 027-220-7222

e-mail: okazaki@edu.gunma-u.ac.jp

天文学会事務所 Tel: 0422-31-1359

Fax: 0422-31-5487

e-mail: jimou@asj.or.jp

天文月報オンラインのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード **vol98** の計 10 文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。

児玉忠恭(編集長), 浅井 歩, 柏川伸成, 衣笠健三, 鈴木 建, 徂徠和夫, 竹井 洋, 野田寛大, 浜名 崇, 三好 真, 山崎 了, 吉田直紀

平成 21 年 6 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2009 年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)